

2 懇談会の目的と検討事項

(1) 懇談会の設置経緯

懇談会の設置は、平成14年1月に、江別市が実施した「市民活動団体（NPO）等との協働活動調査」に回答した団体を中心に、平成15年12月24日に小川公人江別市長（事務局：旧政策審議室（現企画政策部市民協働推進担当））が市内の市民活動団体約150団体に懇談会の開催を呼びかけたことにはじまります。呼びかけ内容は概ね次のとおりです。

【江別市からの呼びかけ】

1 趣旨

近年、テーマ型市民組織（ボランティア・NPO・市民活動団体）の活動が活発化し、行政と市民との協働の取り組みが進んでいます。

しかし、多くの団体では、人材や財源の確保、活動拠点などの悩みを抱えており、また、団体間相互の情報交換が十分できる環境とはなっていないと推測します。

こうした状況を踏まえて、行政と市民との協働の在り方を考えるとともに、関係団体間の情報交換の場として、市とNPO・市民活動団体等との懇談会（仮称）を設けたいと考えています。

2 参加資格

懇談会の趣旨を理解し、他の参加者とともに議論を積み重ねて行政とNPO・市民活動団体等との協働の在り方について、江別市に提言をしていただける団体・個人とします。

3 懇談会の運営

原則として、平日の夜間、土曜・日曜の日中の時間に開催し、できるだけ多くの方が参加できるようにします。会場は、公民館などを予定します。なお、初回は市が中心になって準備をしますが、2回目以降は参加者の話し合いをもとに自主的な運営をしていただきます。

こうした呼びかけに応え、平成16年2月15日に53団体が集まり、第1回懇談会が開催されました。以降の運営をスムーズに行うため「世話人」を選任し、今日まで世話人、アドバイザー、事務局が打ち合わせを行い、論点整理をし、次回の懇談会を開くという仕組みで、これまで11回の懇談会を開催してきました。

(2) 懇談会の名称

懇談会の名称を『えべつ市民活動・協働ネットワーク懇談会』と名づけました。

(3) 懇談会の設置目的と検討事項

みんなで討議し、懇談会の設置目的と懇談会で行う検討事項を以下のよう
に決めました。

懇談会の設置目的

近年、活動が活発化しているボランティア・NPO・市民活動団体(以下「市民活動団体」という。)の実態を団体間相互で認識し、市民活動の活性化を図るため、また、自らの活動の理念と手法を持つ「市民活動団体」と「行政」の関わり方や協働の可能性を考えるために、相互の情報交換の場として、「市民活動団体」と「行政(江別市)」等で構成される懇談会を設ける。

検討事項

参加する市民活動団体等が、話し合いを通じて、それぞれの活動に対する理解と認識を深めるとともに、協働を進めるために、その手法や課題等について検討を行う。

その後、行政と市民活動団体の協働のための基本的な理念とルールや事業の可能性などについて考え、行政にその経過等を報告(提言)する。報告(提言)をまとめるにあたっては、行政がこの報告(提言)を事業、施策、政策に反映させるために必要な方法等についても考察する。

(4) 懇談会の運営方針

懇談会の運営については、参加者自らが自主的に運営することを基本とし、会議の案内や会議に使用する筆記具の用意など事務局的な役割は市に担っていただきました。また、運営方針を以下のように取り決めました。

懇談会の運営方針

- a . 懇談会(全体会議)を月1回程度開催する。
- b . 懇談会を自主的に運営するために希望者で構成される世話人会をつくる。
- c . 会議の進め方や成果の取りまとめ方など、会議の決定に関しては、全て参加者の合意形成によって行うことを基本とする。
- d . 懇談会は公開として、話し合われた内容は原則として公表する。

(5) 会議経過

会議の経過等については、以下のとおりです。

第1回 2月15日(日) 野幌公民館 参加者40名

参加者それぞれの活動に関する意見交換を行った。また、会議の運営方針、開催ルールなどについて取り決めるとともに、懇談会の当面の目標として、年内を目途に「行政とNPO・市民活動団体等との協働のあり方について」の考え方をまとめ市に報告（提言）すること、及び8月頃までに論議の経過を「中間のまとめ」として発表することなどについて検討した。

第2回 3月21日（日） 野幌公民館 参加者 38名

「懇談会の設置目的」「懇談会で行うこと」「懇談会の運営」「検討報告（提言）の実施」について確認した後、グループに分かれて意見交換を行った。

第3回 4月18日（日） 野幌公民館 参加者 34名

会の名称を「えべつ市民活動・協働ネットワーク懇談会」と決定。

前回と同じように小グループに分かれて意見交換を行った。

第4回 5月29日（土） 野幌公民館 参加者 51名

延藤安弘さん（名古屋市の「NPO縁側育み隊」代表、前千葉大教授）を招き、「協働」について勉強会を開催。

小グループに分かれて協働について意見交換を行った。

第5回 6月20日（日） 東野幌体育館 参加者 21名

グループ討論を開始（「情報」と「場」）

第6回 7月25日（日） 野幌公民館 参加者 30名

「情報」「場」「協働」の3グループに分かれてのグループ討議

なお、上記3グループは、論議を深めるため、懇談会以外の時間にも集合し議論を行うこととした。

第7回 8月29日（日） 野幌公民館 参加者 23名

「情報」「場」のグループ会議の報告、中間のとりまとめ（案）の検討を行った。また、参加者の活動を紹介するパネル展（名称；「市民活動見本市」、11月27日 江別市民会館）を行うことを決定した。

第8回 9月26日（日） 野幌公民館 参加者 63名

江別市のタウンミーティングに参加し、江別市長と意見交換を行った。

第9回 10月17日（日） 江別市民会館 参加者 17名

市民活動見本市の取り組み状況報告、市民活動及び協働の促進に必要な「情報」「場」の具体的な検討を行った。

第10回 11月7日（日） 東野幌体育館 参加者 28名

市民活動見本市のレイアウトほかの報告を受け懇談会として承認、「情報」の取り組みとして市広報広聴課長から市の広報誌の説明を願ったほか、「場」の具体的な検討を行った。

第11回 12月5日（日） 野幌公民館 参加者 23名

11月に行った市民活動見本市の結果報告、市に提出予定の本懇談会の検討報告書（案）についての意見交換等を行った。